

キャベツ



栽培のポイント

①育苗管理を徹底しましょう

夏まきの育苗は、涼しい場所選びと、強い光を防ぐ遮光資材の活用が欠かせません。30℃以上の高温になると生長が停滞するため、遮光して暑さを防ぎましょう。

②害虫に注意

ヨトウムシやコナガなどがつきやすいので、早期発見と早期防除を心がけましょう。薬剤を散布するときは、葉の裏にもかかるようにします。防虫ネットを使用する際は、風で飛ばされないように土などで押さえましょう。

③追肥を忘れずに

キャベツは外葉まで含めると、かなり大株になります。生育期間も長いので、肥切れを起こさないように注意しましょう。追肥は2回、畝の側方に浅い溝を掘って化成肥料をまきます。夏まきなら、植えつけ1ヶ月後と結球が始まる頃に施すとよいでしょう。

栽培カレンダー



1 苗づくり

●セル成型育苗(128穴)の場合
1穴に4~5粒まき、発芽するまで新聞紙をかけておく



〈間引き〉

本葉出始めのところ2~3本に間引く。本葉2枚のところ1本立てにして、本葉4枚の苗に仕上げる

●鉢育苗の場合

少ない本数の場合なら、ポリ鉢に1鉢あたり4~5粒をじかまきして育てる。鉢は網箱などに入れておくと移動などの管理がしやすい



〈間引き〉

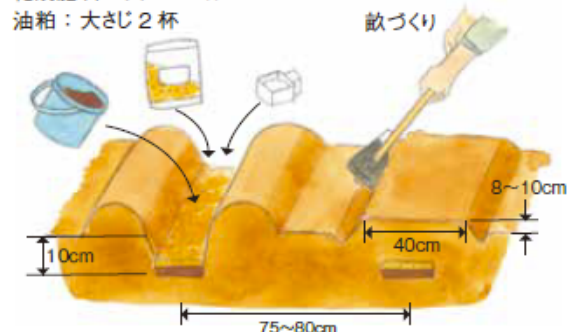
発芽がそろったら3株に間引き、本葉1~2枚のところ1株に間引く。葉色を見て適宜液肥を与え、本葉5~6枚の苗に仕上げる

2 畑の準備と元肥入れ

畑が空きしだい、全面に石灰をまいて深く耕しておく
耕した畑に元肥を入れ、畝をつくる

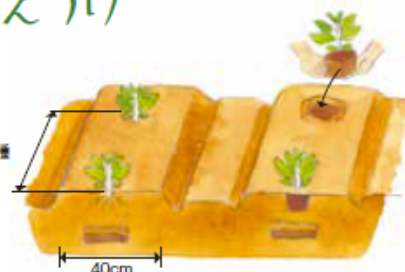
〈畝の長さ1mあたり〉

堆肥：5~6 握り
化成肥料：大きじ2杯
油粕：大きじ2杯



3 植えつけ

早生の品種
30~40cm
中~晩生の品種
40~45cm



土が乾いてきたらたっぷり水をやり、根鉢を崩さないよう、ていねいに苗を抜いて畑に植えつける

4 追肥

●第1回(1株当たり)

化成肥料:大きじ1杯
植えつけ後15~20日目に、畝の片側に肥料をばらまいて土寄せする

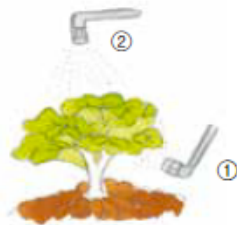
●第2回以降(施肥量は1回目と同じ)

20日後に1回目と反対側の畝に肥料をばらまき、土寄せする
最後の追肥は、結球し始めのところ、前回と反対側に同様に施す

5 害虫防除

早めに発見し、①、②の順に葉の裏、表にていねいに薬剤散布する

畝はべた掛け資材で直接覆い、風に飛ばされないように工夫して留める



6 収穫

手で押さえてみて、硬く締まってきたら収穫適期

手で押さえて倒すようにし、株元へ包丁を入れて切る

